

一般財団法人 白神山地財団
第4回理事会 議事録（案）

日時：平成24年7月18日（火）6：00～
場所：白神山地財団事務局

1. 開会宣言
2. 理事長挨拶
3. 議長選出：定款第7章 第35条の1による。
4. 議事

1) 出席者の確認

〔出席者〕 理事：渋谷、太田、大中、清藤崇
事務局：澁谷

〔欠席者〕 理事：門前、清藤（洋）、齋藤

- 2) 定足数の確認：理事7名中4名出席（成立）
- 3) 資料の確認

4) 議事録作成成人並びに署名人の指名

議事録作成成人：澁谷

議事録署名人：太田

議事録署名人：清藤

5) 協議事項

● 第1号議案 第3回理事会議事録（案）承認の件：承認

【全理事】承認

● 第2号議案 白神山地世界自然遺産登録20周年記念事業：継続審議

【太田理事】この取り組みを20周年の会議に上程するのか。

【事務局】次回の会議でもめばしい取り組み等は期待できないため、財団がイニシアチブをとる目的に使いたい。

【大中理事】会議メンバーにオブザーバーでも良いので観光コンベンションは入れるべきだし、声が掛かるのを待っている状態である。さらにこの取り組みに対してのグランドデザインを提示し主導権を握る必要がある。県ではなく弘前市、観光コンベンション、財団がメインとなって動くべきである。10周年の時のような事は避けたい。

【理事長】想定される事業については主体（主語）を明記して提示することが重要である。

【太田理事】県の自然保護課が事務局とあるが主体性を持って動くのか。

【理事長】自然保護の観点から保護課が事務局となった感はあるが、20周年の取り組みは活用とか観光等がキーワードとして重要性を持つ。その中に自然保護があっても良いと思う。

【太田理事】財団が主となったとしても、各自治体の予算を取りまとめることは不可能ではないか。

【事務局】自治体にはそれぞれのパートを受け持ってもらい、それらを取りまとめて一つのものを作り上げるようなイメージである。具体的には報告書の表紙はそれぞれの自治体の事業名とし、目次の特定部分をそれぞれ担当してもらい、編集・監修を合同実行委員会が行うというスタイルを考えている。

【理事長】メジャーなものだけではなく、その地区だけに伝わるもの（祭り）等の掘り起こしを行い沢山のコンテンツを用意する。それは県では不可能で、それぞれの自治体しか知り得ないものである。それらを紹介し伝えることが重要だと考える。

【大中理事】弘前で「まち歩き」がまさにその良い例だと思う。

【太田理事】今までは県境をまたいで何かをすることはなかった。そこに財団が主体性を持って取り組むことは意義深いものがある。

【理事長】これに関する寄附も集める必要がある。

【太田理事】白神に係わって来た団体にも加わってもらわなければならないか。

- 【清藤理事】 Aラインに係わる団体も良いと思う。YEGも25周年だし。
- 【大中理事】 経済に係わる連携や循環のような関係も必要だと思う。
- 【太田理事】 連携のとれそうな団体を分野別にピックアップする必要がある。
- 【大中理事】 20周年に関して県会議員等に質問してもらうことも必要だと思う。
- 【理事長】 この議案に関しては継続して審議していくものとする。
- 【全理事】 了解した。

5. 報告

1) 白神キッズキャンパス実行委員会報告：

来週末から始まる白神エリアの進捗状況とスケジュールについての報告。
22日の歓迎会への理事の参加をお願いした。

6. 次回会議開催日の確認

第5回理事会 8月 17日（金） 午前6時 ～

7. 閉会宣言